～いつまでも住みたい故郷　安心して暮らせるまちを目指して～

『生活支援体制整備事業』が始まっています！

問健康保険課　☎52-5809

町では、高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、その地域に暮らすさまざまな人が協力しあい、支え合う地域づくりを推進する『生活支援体制整備事業』の推進に取り組んでいます。

■なぜ地域の支え合いが必要なの？

令和3年3月末現在、田布施町の高齢化率は36．4％で、今後ますます高齢化が進んでいくと予測されています。

町の総人口は、年々減少していますが、1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯は増えています。このようなことから、介護サービスの需要は増えていきますが、それを担う専門職の人材不足が懸念されます。

また、高齢者世帯では、買い物やごみ出し、草刈りなどの『生活支援』や、外出機会、居場所づくりなどの『介護予防・社会参加』に対するニーズが高まっています。

そのような課題を、地域住民などさまざまな人達による支え合いによって解決することで、住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくことできるようになります。

そこで地域住民がつながり、自分のできることで支え、ときには支えられ、お互いさまの気持ちで、いつまでも安心して暮らせる地域づくりが必要となります。

あなたも支え合いの地域づくりに参加してみませんか。

■具体的にどのようなことをするの？

地域の実情により取組む内容はさまざまです。

協議体のメンバーを中心に、関係機関や生活支援コーディネーターが連携し、情報共有とその地域で必要な支えあいについて話し合い、地域でできる仕組みづくりに取り組んでいきます。

■協議体とは？

地域住民などがその地域に必要な支え合いを広げるための話し合いを進める場です。

町では、町内全域を対象とする協議体（第1層協議体）を設置しており、各公民館の区域ごとに第2層の協議体を順次設置していく予定です。

■生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）とは？

地域での支えあいを推進する人をいいます。第1層・第2層の協議体と連携しながら、次のことを主に担います。

・地域で行われている活動などの地域資源の洗い出し
・高齢者などの生活支援ニーズの洗い出し
・地域資源とニーズのマッチング
・その他、地域での支え合いの推進に関すること

◀お互いさま城南

■城南地区に協議体『お互いさま城南』が立ち上がりました！

城南地区では、令和2年度に『地域づくりセミナー』を5回実施し、今年7月21日に第2層の協議体『お互いさま城南』を正式に立ち上げました。

今後、城南地区でできる『地域の支え合い』について情報共有と仕組みづくりを検討していく予定です。

■麻里府地区で新たに『生活支援』が始まりました！

麻里府地区では、令和2年8月19日に協議体『支えあいまりふ』が立ち上がり、毎月1回程度の話し合いをしてきました。

その結果この度、麻里府に住む高齢者のため、草刈りや電球交換、ごみ出しなどの日常生活のちょっとした困りごとを支援する体制ができました。

◀支えあいまりふ